

4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
1	学習活動	目 標	① 教育課程編成 ・国際交流科として、国際社会で健やかにたくましく生き抜く人間としての基礎・基本を確実に習得できるよう、カリキュラムマネジメントを実施する。 ② 教科指導 ・基礎学力の定着と学習意欲の喚起により個々の学力の伸長を図る。 ③ 国際理解教育 ・国際的な視野に立って物事を考えることができる国際人としての教養を育む。 ④ 総合的な探究の時間 ・本校の特色である「国際理解教育」を柱として、自ら学び、自ら考える力、調査・探究する姿勢・能力、思考力を育成する。情報の収集・発信を通して、まとめる力や発表する力をつけさせる。
	重点1(1)① 重点1(1)② 重点1(2)① 重点1(2)② 重点1(2)③ 重点1(2)④	計 画	① 「中国語」「韓国語」「ロシア語」の科目を設置し、語学教育並びに国際理解教育の充実を図る。 ② 基礎・基本を定着させ学習意欲を喚起するために、教員相互による授業研究を推進し、ICT機器の積極的な活用や生徒の意欲や能力を引き出すわかりやすい授業の実施に努める。 ③ 英語及び第2外国語（中国語、韓国語、ロシア語）の語学教育に力点を置く。 ・英語の授業やSETPプログラムの中で、基本的な英語のフォームの定着を図り、生徒の英語力、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ・中国、韓国、ロシア、米国の友好校との相互交流（オンライン交流、海外研修等）を通して、多様な文化や価値観を体験し、異文化を尊重し国際協力に積極的に貢献しようとする態度を育成する。 ④ 第1学年では、中国語、韓国語、ロシア語の基礎と各国の文化・生活習慣について学習し、第2学年からの第2外国語の学習の準備を行う。 ・第2学年では、海外での第2外国語の語学研修のための事前学習（調査・探究）を行う。 また、将来学びたいことや就きたい職業をテーマに選び、進路に関する調査を行う。 ・第3学年では、各自の進路目標にあわせてコースを選択し、進路に対する考え方や表現する力を培う。
2	学校生活	目 標	① 生徒指導 ・定期的な調査をもとに現状把握に努め、個人面談や集会等で基本的生活習慣の大切さや他者との関わり方等について、生徒が自ら成長ができるよう継続的な支援を行う。 ・あたりまえのことがあたりまえにできる「スーパーモラルハイスクール」を目指す。 ② 保健指導 ・心身の健康の保持増進に必要な知識や技術の習得を通して、健康で安全な生活を送るための態度を育成する。 ・安全で安心な学習環境の構築に努める。 ③ 教育相談 ・心の問題を抱えている生徒がSOSを出しやすい環境を作り、相談体制を整え全体で支援する。
	重点2①② 重点2③ 重点2④	計 画	① 全教職員で生徒理解に努め、家庭や地域社会と密接な連携をとりながら指導する。 ・基本的生活習慣の定着と生徒の主体性を重視したモラル意識の向上については、家庭と連携しながら学校生活のあらゆる機会を通じて粘り強く指導・支援する。 ② アンケートを元に清掃活動の取組状況を知り校内美化に向けて改善を図ったり、ボランティア活動を通して校外美化の意識を高めたりする。 ・校内外の環境美化と学習環境の整備に努める。 ③ 定期健康診断や各種調査の結果をもとに、生徒の実態を把握し、健康管理や心の悩みなどについて適切に援助・指導をする。 ・全教職員で生徒理解に努め教育相談体制を充実するとともに、個別の支援計画の充実を図る。 ・SC、SSW等の助言をもとに、家庭と連携しながら生徒の支援に努める。

3	進路支援	目 標	○進路指導 ・生徒が自らの在り方生き方を考え、能力や資質を伸ばし、個に応じた進路選択ができるように指導する。
		重点3①② 計 画	○3年間を見通したキャリア教育計画を策定し、各学年で重点を置く内容を明確にして取り組む。第1学年では自分を知り目標を持ち、第2学年では自己の理解を深め、目標を具体化し、第3学年では希望進路の具体的な情報収集とその達成に向けて学力の向上に努める。 ・生徒自身が情報を収集し、将来の進路について考えるように啓発する。 ・総合的な探究の時間・HR・面接等を通して進路意識の高揚を図り、生徒が自分に適した目標を早期に決定し、その達成のために継続的に努力していくように指導する。
4	特別活動	目 標	① 特別活動指導 ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた人格の陶冶を目指す。 ・生徒の個性を伸ばさせるとともに、集団の一員としての自覚を高め、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 ・地域行事においては、積極的な参加を計画し、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間性の涵養を目的とし、自らの生き方に自信を持ち社会に貢献できる生徒の育成を目指す。併せて、「地域に愛される魅力ある学校」づくりを推進する。 ② 読書指導 ・読書を通じて、論理的思考力や想像力を磨いて心の豊かさを育む。
		重点4① 計 画	① 生徒会活動・部活動の活性化を目指し、生徒の自発的な企画運営を基本に、個性の伸長と自主的・協力的な態度の育成を図る。 ・学校行事では、目標を明確にするとともに、生徒の満足度が高くなるように、教師と生徒が相談して企画運営に努める。 ・ホームルーム活動では、生徒が学校生活に適応し、より良い人間関係を形成するよう学年が協力して実施する。また、生徒が自主性を発揮し、一人ひとりが積極的に参加できるように、事前準備や運営等に責任を持たせる等の指導の工夫を行う。 ・地域行事やボランティア活動では、その活動の意義を明らかにして生徒の参加を奨励し、学校全体で積極的・組織的に推進する。 重点4② ② 読書習慣の定着化を推進し、朝読書を実施する。 ・調べ学習や資料作成をサポートするための図書購入希望調査を実施し、蔵書を充実させる。また、生徒が積極的に活用できるように図書館運営を工夫する。 ・生徒図書委員会の活動を活発にし、広報活動や図書室講座を充実させる。
5	そ の 他	目 標	①PTA組織と学校との連携 ・PTAの協力を学校の教育活動に反映させ、生徒の育成につながる事業を実施する。本校での国際交流活動では、友好校の来校時の受入れにPTAが積極的に協力し、生徒の国際感覚の醸成の支援をする。 ②情報発信方法の改善 ・ネットワーク環境を利用して、保護者や地域の方々に学校への理解を深めてもらうことや、また海外の友好校と交流を活性化させるために効果的に情報の発信を行うことが必要となってきた。HPやSNSを通して、本校への関心を高めてもらえるような情報提供を行う。
		計 画	①PTA組織による学校行事での支援 ・職業人講話など進路学習の協力 ・国際交流活動におけるPTA国際交流委員会の協力 ・PTA常任委員と学校による連携・協力体制の協議 ②HPやSNSの見やすさと早期発信に努める。 ・HPやSNSの掲載を多くの教員が取り扱うことができるようにする。